

## たかやま共創ミーティング（第3弾）

○テーマ これからの広報活動（情報発信）方法について考える

○ミーティング内容

### ■課題

- ・ SNS などあるが機械が苦手な人は活用できない
- ・ 「伝わる」というゴールの見える化
- ・ 広報たかやまの内容が広く発信されていないのでは？
- ・ 知りたい情報以外の情報も知ってほしい（ネットでは検索したものしか見ない）
- ・ どんな情報発信があるか知らない人が多い
- ・ 情報が多すぎる、情報を絞っては

### ■情報発信の方法

- ・ 広報教育という観点、発信は充分→受け取り手の教育、「必要な情報だ」と感じさせる教育  
情報を欲しいと思う人は自分で探す
- ・ 「一般的な情報」と「ならではの情報」を分ける
- ・ スーパーなどでモニター（デジタルサイネージ）で市政情報を流す
- ・ スーパー、コンビニなどにも広報たかやまを置いてもらう
- ・ 町内掲示板を利用し、市政情報を配信
- ・ 検索機能の充実
- ・ YouTube ちゃんねる「広報たかやま」をやってみては？  
（広報たかやまを感想付きで読み上げる、コメントを入れて紹介する）
- ・ YouTube ライブ配信、ショート動画の活用
- ・ デジタル化がすすむ時代だが、あえて小冊子を作成して注目度をあげる
- ・ 多様な発信で情報を分散させるのもよいが、一元化するのもいいかも
- ・ 他の市にはない驚きの政策をすることで注目の市となる
- ・ 市職員の中から広報キャラを出して楽しく PR する
- ・ 民間へスペースを提供→広報たかやま、ホームページ、SNS
- ・ 市民時報に必ず目を通すのは「おくやみ」をチェックするから。必ず見るような情報が載っているとホームページも毎日見に行く

### ■市民との連携

- ・ 市民と具体的にどう連携するのか
- ・ 民間のイベント情報等を市も PR してくれると見る人が増えるのでは
- ・ YouTube ちゃんねる「広報たかやま」をやってみては？（再掲）  
（広報たかやまを感想付きで読み上げる、コメントを入れて紹介する）
- ・ クチコミによる二次発信
- ・ 市民のニーズを調査するために、「知りたい情報」アンケートをやってはどうか
- ・ ホームページイベントカレンダーの充実→民間との連携、統合  
知っていたら行ったのに・・・アクションにつながるにはスケジュールがわかるとよい  
伝えるから、伝わるからアクション  
カレンダー機能に歴史（金森氏）などを入れてほしい

■市内と市外の情報発信の分け

- ・市民と市民外に広報の課題を切り分けては？
- ・高山の外の人へどう伝えるか
- ・市民情報とそうでない情報が分かれていない (ex. はたらく→市民は就労ととらえるが、市民じゃない人は移住ととらえる)
- ・地域外への発信方法がない

■その他

- ・各メディアのターゲットとなる年齢層は？
- ・なぜ職員の広報に対する意識向上が必要なのか？
- ・対外的なプロモーションの目標とは？住みよさが移住につながるのでは
- ・観光以外の地域の良さとは？
- ・AI チャットボットに質問するとはじかれてしまうことがある。
- ・市は、現状でも十分に情報発信ができています
- ・最近の広報たかやまは、とても読みやすく親しみやすくなった。特集を楽しみにしているし、毎月知らないことを知れて勉強になる
- ・広報たかやまの表紙の雰囲気がいい
- ・PR TIMES の配信も分かりやすく、話題の豊富さがいい (フォローした)
- ・インスタが見やすくわかりやすい